



三島会館だより

第 78 号
令和 8 年 2 月 2 日

こんにちは！三島会館です。

早いもので、令和 8 年も 2 月になりました。先月の下旬は大雪で、市内の小中学校が臨時休校になつたりして、皆様の生活にも多少の影響はあったのではないかでしょうか。ただありがたいことに雪による被害はなかつたようで、とけだしあれば、ほぼ普段の生活ができるようになったのではないか、と思います。

いずれにしましても、困ったときには皆さんで声を掛け合つて、助け合つて、地域の結びつきやまとまりを發揮する時季だと思います。

「JPCZ」って何？

先月の大雪の時には、この「JPCZ」という言葉をニュースや気象情報でたびたび耳にされた方もおられるのではないかでしょうか？じつは「JPCZ（日本海寒帯気団収束帯）」は、数年前から言われてきていて、「西高東低」の冬型の気圧配置と並んで、大雪をもたらすことがあります。気象庁の HP には、JPCZ は次のように説明されています。

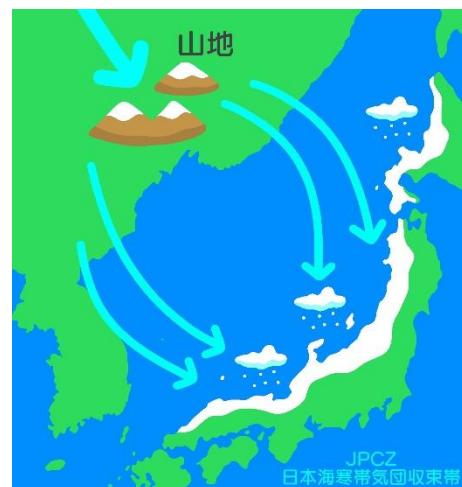
冬に日本海で、寒気の吹き出しに伴つて形成される。水平スケールが 1000km 程度の収束帯。この収束帯に伴う帶状の雲域を、「帶状雲」と呼ぶ。強い冬型の気圧配置や上空の寒気が流れ込む時に、この収束帯付近で対流雲が組織的に発達し、本州日本海側の地域では局地的に大雪となることがある。

シベリアからの寒気を伴う風が朝鮮半島北部の山脈で分かれて、その風下である日本海で再び合流し、帶状に収束（雪雲が発達しやすいライン）され、これが東北の日本海側から北陸や山陰エリアに流れ込むと、短時間で記録的な大雪をもたらす危険な現象です。

西高東低の冬型の気圧配置が強まると、この危険性が一層高まります。

1 月下旬の大雪は、まさにこの状態でした。しかも、この JPCZ が長く居座ると、大雪が何日も続くことになります。

私たちは、JPCZ や西高東低の気圧配置から逃れることはできないので、気象情報をしっかりと正確に把握・確認しながら、「大雪に備える」ことが一番だと思います。



気象庁の HPなどを参考にしました。

人権相談日を設けています。

予約不要です。お気軽にどうぞ。

	開催曜日	時間帯	場所	主催
2月	4日（水）と 18日（水）	9:00-11:30	プラザ萬象	敦賀人権擁護委員協議会
	13日（金）	13:00-16:00	三島会館	福井県人権センター
3月	4日（水）と 18日（水）	9:00-11:30	プラザ萬象	敦賀人権擁護委員協議会